

■がんゲノム外来受診の流れ（新鮮検体）

がんゲノム外来は、入院中の方は原則受診できません。他の医療機関入院中にがんゲノム外来を受診された場合は、その入院医療機関に遺伝子パネル検査に関わる医療費の負担をお願いすることになりますので、ご注意ください。

紹介元病院でお願いすること

当院で行うこと

1

「がんゲノム外来」へ初診の申し込み

1. 患者さんの検査の適応を確認
2. 患者さんへパネル検査について（HP留意事項参照）を説明
3. 検査選択フローにて、適応する検査方法を確認
4. 当院へ以下のものを追跡可能な方法（レターパック等）で送付
 - ① がんゲノム外来 申込書【様式1】
 - ② 診療情報提供書
 - ③ 資料（実施された画像検査や血液検査）
 - ④ C-CAT入力情報（血液がん）【様式19】
 - ⑤ 看護情報提供書（任意）【様式6】
 - ⑥ がん遺伝子パネル検査提出（新鮮検体）用チェックリスト【様式17-2】

2

紹介元病院に初診予約日をFAX

1. 「がんゲノム外来予約日連絡票」、「外来診療申込書」を当院からFAXで送信いたします。

3

患者さんにごんゲノム外来予約日を連絡

1. 紹介元病院から患者さんに初診予約日を連絡してください。
2. 患者さんに以下のものをお渡しください。
 - 「がんゲノム外来予約日連絡票」
 - 「外来診療申込書」
 - がんゲノム外来を受診される方へ（問診票・血液がん）【様式16】

4

1回目診察

1. 医師、看護師より検査の内容や費用など説明します。
※全身状態や診察結果により、検査をお断りすることもあります。

5

2回目診察

1. 検査について再度確認し、同意書に署名していただきます。
2. 正常部検体を採取し、腫瘍部検体と合わせて検査会社に提出します。
※検査提出後、解析不良となる場合があります。その際は当院がんゲノム外来医師より、紹介元病院の主治医へ連絡いたします。

6

3回目診察

1. エキスパートパネルを経て確定した検査結果を患者さんに説明いたします。
※入院中の患者さんには結果説明を見合わせる場合があります。入院中、入院予定の場合は、必ず当院にご連絡ください。
※患者さんの当院受診のめどが立たない場合、ご家族、代理人に来院していただきます。その場合、遺伝子パネル検査に関わる医療費の負担は入院医療機関にお願いすることになります。
※造血器腫瘍遺伝子パネル検査の中間報告の対象となる「Fast-track対象遺伝子異常」が検出された場合には、3回目診察の前に中間報告として結果説明をさせていただきます。

7

患者さんの診察継続・情報提供の継続

1. 患者さんの診療継続をお願いします。
2. 看護情報提供書でフィードバックします。（提出された病院のみ）
3. C-CAT情報更新のための追跡調査書を半年ごと紹介元病院宛に郵送いたします。主治医の方はご記入の上、ご返送ください。
※がん遺伝子パネル検査やエキスパートパネルで得られた結果はレターパックで送付いたします。治験・臨床試験目的で他院に紹介する場合は、各病院で問い合わせのご対応をお願いいたします。